

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念をパンフレットやホールの見やすいところに掲げている。地域の中で当たり前の暮らしが出来る様に努めているが、地域の中で暮らし続けることの理念を考案中である。</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念をホールや事務所にも掲げ、実践に向けてケアの提供をしている。カンファレンスや会議等で話し合い全員で共有している。今後見直しも必要で、全職員で作りたい。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族には入居契約時、入居後に折に触れて話している。地域の方には行事にも参加していただいている。民生委員、老人クラブ、福祉委員、婦人会の代表者の方達を行事に招待するなど積極的に交流を図っている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>近くの商店街に利用者とかかけたり、散策時の挨拶も声を掛け合える関係が出来ている。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>防災訓練、盆踊りや敬老会、バザー、地藏盆、神社の祭りなど機会があるごとに参加している。顔馴染みも増えて、気軽に声をかけて頂くことも多い。</p>	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>一人暮らしの方に、行事に参加していただいたり、行事の時の散らし寿司、おはぎなどおすそ分けをしている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>色々と気づかせて頂き、評価を話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域包括支援センター、老人クラブ、自治会長、民生委員、家族・利用者代表等で行っている。地域の行事の誘いや情報等を頂き生かしている。火事や地震時には駆けつけてくださるなど積極的な意見も聞かれる。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>ケアマネが市町村の主催する事業者連絡会に時々参加している。研修会には職員も参加するときがある。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等で学習をしている。 以前、成年後見制度を利用する利用者がいて、最初から関わり大変勉強になった。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待はあってはならないことで、身体的な虐待から言葉の虐待もあり認知症の正しい理解をもつ事が大事で、学習に心がけている。</p>		

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者、家族の不安、疑問点を伺い、十分に話し合いを行っている。ご家族の方の理解を得ていると思っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎日の暮らしで、言葉や様子から思いを受け止め職員全員で話し合い解決を図っている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2～3ヵ月置きに、生活ぶりを広報で伝えている。緊急の変化があれば必ず、ご家族に連絡を取っている。金銭管理は毎月行っている。ご家族の面会も多く、その都度様子を伝えている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。運営推進委員会に、ご家族2名が参加している。面会等で話しやすい雰囲気を作るように日頃から努めている。</p>	<p>○ 11月に家族懇談会を設ける準備を進めている。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンスや普段の日常会話からでも聞けている、</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>地域の職員が多く、また管理者や代表者も近くに住み、何かあればすぐに対応が出来る。助け合いながら調整している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動がないように努めているが、職員が変わっても不安にならないよう、同じサービスが受けられるようにフォローしている。新人職員には明るく笑顔で接するように話している。</p>	

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	施設内、外部研修を積極的に参加している。業務の中で指導もしている。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会で処遇困難な事例を学習をしたり、情報交換をしている。他のグループホームの職員を受け入れたり、交換学習を行い、質の向上に努めている。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	食事会を設けたり、希望の休日が取れるように工夫をしている。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	運営者もシフトに入っており、把握出来ている。必要に応じてヒヤリング等も行うこともある。	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	ケアマネジャーと職員2名で面接を行い、傾聴を心がけている。	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	上記と同じ。思いを大事にし受け止めている。	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	思いを受け止め、必要であれば、出来るだけの事はする。ご家族の希望はを大事にしたい。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御利用者も見学をして頂き、説明も行い、ホールで他の御利用者とは会話をして頂くなど雰囲気に慣れて頂くように努力をするが、入居当初は集中的に関わり安心して頂いている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を職員と共に共有し、御利用者を尊重しながら行っている。よくお話を聞くように努めている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、利用者との関係を大事にして頂いている。行事に参加して頂いたり、普段の様子を伝えるなど共に支える関係を築けるように努力をしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御利用者との時間を大切にして頂けるような環境を心がけている。御利用者が外泊したり、食事に出かけられるような個々に応じて支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前のお家まで出かけたり、来訪時、職員が御利用者の素敵なところを伝えたり、居室でゆっくりお話出来る様にお茶などおもてなしをしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	御利用者3～4名でお料理や片付け、洗濯たたみ、レクなど行ってもらうことで、お互いに頼りあえる関係を作っていたり、またやや困難な御利用者には、輪に入れるように支援したり工夫をしている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	死亡退所で 退所後2年や3年、2家族さんが来訪して下さっていたが、現在は来訪はない。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	傾聴に努めているが、なかなか思いや、希望が把握できない時もある。良かれと思ってもご本人が望まないこともある。職員の思いで行うこともある。本人本位で嫌なことはしないことである。編み物、キーボード、歌など得意なことも支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人ご家族から聞き取りを行い、これまでの暮らしを把握しようと努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	健康管理表やケース記録で全職員が共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族の希望や気持ちを話し合い、時にはドクターや看護師にも意見を聞きながら行っている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回のモニタリングを行っている。変化が行ったときは、緊急に見直している。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や受診記録、健康管理表、申し送りなどで情報を共有しケアプランに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の希望でお泊りや、買い物(下着、化粧品等)をしたり希望になるべく浴うように努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	音楽療法、生け花教室、朗読会などは地域のボランティアの方々に協力いただいている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージ、訪問歯科、理美容などを受け入れている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議のメンバーとして情報交換している。ほかに認知症安心サポーター養成講座の講師を引き受けることもある。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週かかりつけ医師の往診があり、緊急時の24時間体制をとっている。精神科は家族が同行をしている。今後看護師による医学の勉強会を事業所で行う予定がある。		

グループホームカスタネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導、入浴時、失禁等の言葉掛けは、失礼のないように、十分気をつけて行っているが、他の御利用者に聞こえる様な場合もあり、声のトーンや言葉掛けには、今一度反省をしていきたい。記録等は慎重に取り扱っている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	御利用者に何かしたいこと、食べたいものなど聞いている。御利用者のペースに合わせるようにしている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	プログラムは殆どなく、束縛のない自由な暮らしをして頂こうと常に考えている。外に出かけたいときはなるべく希望に沿うような支援をしている。職員からの働きも大きく希望を聞き行っている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望する場合、白髪染めやマニキュア、口紅を塗ってもらったり、塗ったりして楽しんで頂いている。2ヶ月に1度の割合で理美容も利用している。衣服の着脱はご自分で出来る方、出来ない方とありますが、小奇麗に心をかけていただいている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お料理を作り、盛り付けをして、後片付けをしての一連の作業を職員と共に行っている。炒める、ささがき、皮むき、胡麻すりなど皆さんに出来ることをして頂いている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	煙草をたしなむ方やお酒を飲める方も、以前はいらっしゃったが、現在は対象者がおられない。おやつや飲み物、温かいか冷たいか希望を聞き好みに合わせている。	

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	4名の方の排泄チェック表を作成し、排泄回数や排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。パットが汚れたままの状態を少なくするケアに努めている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時に仲良しと一緒に入浴を行ったり、入りたくない日は次の日に誘ったり、希望を受け入れている。リラックスして頂けるように入浴剤を用いている。温度やお湯の量は個々に応じ、比較的のんびりと入浴を楽しんで頂いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	朝も無理に起こすことはせず、なるべく自然体になっている。夜も見たいテレビがあれば見て頂き、就寝時間を決めていない。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	理念に掲げているように、ケアプランにあげ役割、楽しみを支援している。料理や掃除、音楽、裁縫、編み物など得意なことを進んで行える場面を作っている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	居室でお金を数えるのが習慣であったり、持っていることで安心する方がいる。他はホームで預かり管理をしている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出かけようと玄関の戸を開けた場合は、なるべく付き添い散策をしている。また下肢筋力の低下防止、気分転換にドライブにもよく出かけている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	動物園、サーカス、コンサート、植物園、喫茶店等に出かけたり、家族にも参加をお願いしている。住んでいたお家を見に行ったりしている。		

グループホームカस्ताネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者が掛けられないので、電話を掛けたいと言った場合は職員がつながりすがすがしく対応がない。御利用者のご家族からプレゼントが届いたときには品物を目の前に置きお礼の電話をする。年賀状は毎年出している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	居室でゆっくりと会話が出来る様に温度を調整したり、椅子を持ち込んだり、お茶を出すなど心がけている。笑顔でお迎え、お見送りを職員共々行っている。日常の状態を伝えたりしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の対象者はいないが、心得ている。されて嫌なことはしないことを心がけている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開設当初から自由に外出できる様にしている。しかし不穏時で徘徊が激しく危険な場合など状況によっては行うときもある。また鍵を掛けないことでご家族、知人等の訪問がしやすいと考えている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員全員で把握できるように話し合っている。特に徘徊者の所在確認は常に行っている。誰々さんはどこにいるか職員同士で確認を行っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	何でも持って行く御利用者があるので、包丁や危険なものは目に付かないところにしっかり保管をしている。薬箱などは倉庫に置き管理をしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	自治会の防災、地震訓練に参加している。消火訓練、救急時の処置、蘇生法も学んでいる。地域住民にも参加していたりしている。誤嚥は実際に起こっているので学習し対応している。マニュアルも作成している。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し内容を熟知している。かかりつけ医との連携も行っている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回避難訓練を実施しており利用者にも参加して頂いている。地震の場合、避難場所もわかっており訓練に御利用者共々参加している。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	面会時等に状態や様子を伝え、リスクについて話し合い理解を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや様子の変化は勤務している職員で話し合い、必要であれば管理者に連絡をしている。またかかりつけ医に報告、相談して指示を受け、すぐに対応をしている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	説明書には必ず目を通し理解をしている。薬の変更があった場合は引継ぎ簿等で伝達をしている。誤配がないように袋に名前を書いている。薬を口から出す利用者には飲み込むまで確認をしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取管理や運動(散策、体操等)を毎日行うようにしている。かかりつけ医に相談したり、個々に便秘薬の調整を行い、排泄チェック表でも確認をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎回歯磨きを促し、磨き足りない箇所は職員がケアを行っている。義歯は夜間コップに入れるように声かけをするなどしている。定期的に歯科往診もお願いしている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は、その都度記録をし1日の合計を出している。体重を測定し管理をしている。刻みやおかゆなどにして、必要量摂取していただくために一人ひとりに対応している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い励行と嗽も行っている。必要に応じて手袋を使用。手拭にはペーパーを使用しタオルであれば数回交換している。研修にも参加し、それを会議で発表している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾、まな板はハイターに浸け洗い場もハイターで消毒をしている。また日光消毒も行っている。洗面所は毎日磨ききれいにしている。洗濯機も2台あり、清潔なもの不潔なものと分けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関から外回りまでお花を植え親しみやすいように工夫している。鍵はかけず、いつでも気軽に出入りができるようにしている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	暖簾を掛けたり、絵を飾ったり、生け花やお花、観葉植物も数箇所には置いている。西日が当たるので、真夏はよしずを使用している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いの場所で、テレビを見たり、仲良しさんと雑談をするなどソファやテーブル、丸椅子などを設置し、寛げられるようにしている。		

グループホームカスタネット

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンとベッド以外は、慣れ親しんだものを持ち込んで頂いている。仏壇を持ち込んでいる方もいらっしゃる。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓を開け掃除をしたり、毎日、居室の空気を入れ替えている。温度計で調整し、冬は加湿器を使用し換気、空調にも配慮をしている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所には手摺りを設置している。外から玄関前までスロープにしている。玄関先から内部はバリアフリーで、車椅子でも自由に行き来が出来る様に改修している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各お部屋の入り口に利用者の作品を飾り自室がわかるようにしている。ホワイトボードに家族の面会日や通院に行く日を知らせている。今日が何日かわかるように大きな日めくりをホールに掛けている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周囲を散策できるように整備している。またベンチやテーブルを置き日光浴、コミュニケーション、お茶会など憩いの場としても活用している。八重桜や花壇もあり四季折々の花々を楽しむことも出来、庭掃き、水遣りも御利用者の仕事となっている。畑もあり収穫し食卓に出している。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームカスタネット

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

4年以上前からの取り組みで、夕食前の時間帯に利用者に日記をつけて頂いている。覚えている場合もあるが、殆ど忘れていることが多く、職員があったことを伝えると思い出して書けている。当時と比較をすると段々と漢字を忘れ、ひらがなが多くなり雑になっている。縦書きであったり、横書きであったり、それぞれに特徴のある書き方で書いている。時には、利用者が以前の日記を読み返し大笑いをするときもあり こんなことがあったのかと職員も思い出し感心したり、驚いたりしている。